

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	腎芽腫症例における MLPA 法、PCR 法による直接塩基配列解析法、次世代シーケンサーを用いたゲノム解析
当院の研究責任者	加藤啓輔
他研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>腎芽腫は切除術や化学療法により 80%以上の症例が治癒するようになりました。しかし MYCN 遺伝子の増幅を示す例、TP53 遺伝子の変異を示す例や 1 番染色体短腕の欠失、16 番染色体長腕の重複を示す例は再発のリスクが増えます。これらの所見は保険診療の範囲内では調べることはできません。また日本小児がん研究グループの中央診断でも結果は返却されません。</p> <p>今回の研究は染色体や遺伝子の解析を行い腎芽腫の病態を明らかにすることです。現在治療中の患者さんに関しては予後を推定するのに有益な染色体や遺伝子の変化を明らかにして治療法の選択の参考にすることも目的にします。</p>
該当期間・対象者	1995 年以降発症した腎芽腫の患者さんを対象にします。
研究の方法	当院に保存している初診時腫瘍生検体から DNA を抽出します。また経過中に採取した正常検体から DNA を抽出して正常対照とします。MLPA 法、PCR 法を用いて直接塩基配列解析法、次世代シーケンサーを用いたゲノム解析を用いて腫瘍細胞に生じている染色体の変化、遺伝子の変化を調べます。
他機関への情報提供	研究結果は学会、論文等で報告します。個人を特定する情報は報告にはついていません。
個人情報の取り扱い	個人の情報は公開しません。
利益相反	ありません。

問い合わせ先	茨城県立こども病院小児血液腫瘍科 加藤啓輔 TEL 029-254-1151 FAX 029-254-1151 Mail k-kato@ibaraki-kodomo.com
備考	